

本年度の重点目標

・高等養護学校の伝統を礎に、しごと総合科として職業自立・社会自立をめざした教育を構築する。
 ・生徒が、積極的・意欲的に学べるよう、地域や関係機関との連携を深め、情報発信を進めて、本校教育のさらなる発展を図る。
 ・長浜北星高校と連携を図り、インクルーシブ教育に根ざした協働事業をすすめていく。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	生徒一人ひとりの個性を大切にしたい取り組みができる、特色ある学校づくりやキャリア教育を推進している。	A		
	保護者・関係機関・地域社会との連携の下、地域に信頼される学校づくりを推進している。	A		
2 教育課程・学習指導	教科、指導内容、指導方法について検討し、教育課程の編成を進めている。	A		
	教科指導の充実やICT活用指導力の向上のため研究、研修を推進し、教員一人ひとりの力量を高めるよう努めている。	A		
3 生徒指導	個々の実態を的確に把握し、豊かな情操を養い、望ましい人間関係の構築に努めている。	A		
	社会的自立を確立する生活習慣・生活態度を身につけさせるよう努めている。	A		
4 進路指導	いじめの未然防止・早期発見のため生徒の学校生活の把握・指導に努めている。	A		
	計画的な進路学習を進め、働くことの意義を考えその理解を深める指導をしている。	A		
5 保健・安全指導	地域・関係機関等と連携し、個に応じた進路指導を展開している。	A		
	生徒が自主的に健康管理ができるよう、支援と指導に努めている。	A		
6 人権教育	交通ルールや社会的規範が守れるよう指導の充実を図っている。	A		
	一人ひとりが大切にされ、明るく生き生きとしたクラスづくりに努めている。	A		
7 環境教育	思いやりや協調性のある豊かな心を育て、人権感覚を高め磨く指導に努めている。	A		
	自然環境・生活環境に関心を持ち、環境に配慮した生き方を育成している。	B		
8 交流及び共同学習	教科学習や学校行事において、滋賀の自然や文化に触れる学習に取り組んでいる。	B		
	部活動や学校行事をとおして、長浜北星高校生との積極的な交流に努めている。	B		
9 教職員の現職教育	様々な学習を通じて積極的に地域との交流に努めている。	A		
	長浜北星高校と連携し様々な職員研修に努めている。	B		
10 センターの機能の発揮	インクルーシブ教育システムの構築に向けて特別支援教育に係る専門性を高める研修に努めている。	A		
	特別支援教育についての適切な理解・啓発および推進のため、情報発信に努めている。	A		
11 その他学校の取り組み	本校への進学について適切な指導が進められるよう、関係諸機関と連携協力を進めている。	A		
	長浜北星高校と連携し、協働事業を企画し、具体化を図っている。	B		
	高等養護学校の教育実践を、県内の中学校・企業・関係機関等に発信している。	A		

(注)・評価については、ABCDの4段階で示す。

・生徒指導の欄に、いじめの項目を入れること。また、教職員のICT活用指導力の向上、キャリア教育に関する項目について、任意の領域に含めること。

・自己評価:ABCDの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。ただし、アンケートの結果等を機械的にABCDの評価に置き換えるのではなく、学校の現状を真摯に分析・検討し、今後の学校改善につながるよう、適切に評価すること。